



ミルクママ達の いる海の家

人妻達が母乳をまき散らしながら
僕を種搾りした夏休み

成人向けCG集
基本CG11枚 本編枚数239枚





春原 桃恵 (すのはら ももえ)

身長:166cm

B110/W62/H99 (Jカップ)

海の家を営んでいる人妻。

お手伝いをしてきている
優のことが大好きで思う存分
抱きしめてみたいと思っています♡

偶然を装って優の家の近くを
散歩することもあり、彼に会えただけで
身体が熱くなっちゃいます♡



空条 泉水 (くうじょう いずみ)

身長:168cm

B101/W60/H96 (Eカップ)

優と一緒に海の家を手伝っている人妻。

優の綺麗な顔立ちや利口なところが
大好きで自分にいっぱい
甘えてほしいと思っています♡

クールな性格ではありますが、
優とエッチなことをする妄想で
何度もイけてしまうくらい
エッチな一面も持っています♡



日高 明子 (ひだか あきこ)


身長:167cm

B100/W60/H92 (Eカップ)

優と一緒に海の家を手伝っている人妻。

優の素直な性格や可愛い顔が大好きで
からかいつつも、ぎゅっと抱きしめたりして
自分自身を興奮させています♡

性欲が強いのですが、ここ最近では
全くセックスができていません……
そのため、優とセックスをして、
欲求不満を解消したいと考えています♡



そうね、
もうお客さんも
来ないだろうし

桃恵さん、そろそろ
お店閉める用意
した方がいいですか？

メ

ありがとうございます
私も手伝うわ

わかりました！
お掃除始めますね

それじゃあ泉水さんと
あたしは厨房の方を
掃除しようっか

いずみ

ええ

そうしましょう



僕の名前は川島優かわしまゆうと言います。

夏休みの間だけ近所にある
海の家のお手伝いをしてらます。

僕たちが暮らしている地域は
一年を通して暖かい日が多く
海水浴に訪れる観光客の人も
たくさんいます。

特に夏は海の家が大賑わいで
お昼時はお客さんが
途切れることはなく
大忙しになります。

ゆうくん
ほうき持ってきてくれる？



はい
ちよつと待っていてください

すのはらももえ
この人は春原桃恵さん
海の家を営んでいる女性です。

僕の家近所に住んでらして
よくお菓子をくれたりします。

いつも優しくしてくれてらるので
そのお礼に海の家を手伝いたいと
言ってみたところ
すごく喜んでくれました。

桃恵さんには子供がらで
僕よりも年上なのですが、
僕とも仲良しです。

ほうきなら明子さんが
まとめて持つてきてくれるわ

あっ
そうなんですネ

この人は空条泉水さん
ふうじょういずみ
僕と同じクラスの
友達のお母さんです。

泉水さんの家に遊びに行つた時は
冷たくて美味しい飲み物を
いつもたくさん出してくれます。

僕がゴクゴクと飲むところを
泉水さんはニコニコ笑いながら
見てくれていることが多いです。

お待たせ

これ、桃恵さんに
持って行ってあげて

はい
ありがとうございます

この人は日高明子さん
ひだかあきこ
僕の親友のお母さんです。

明子さんの家にお泊りする時は
いつも唐揚げを
たくさん作ってくれるので
いっぱい食べてしまいます。

そんな明子さんへのお礼として
食べ終わったお皿を洗うのを手伝うと
ニコッと笑って優しく撫でてくれます。

僕は桃恵さん、泉水さん、明子さんのことが大好きで海の家で一緒に過ごさせている。夏休みはとて充実しています。

お掃除終わりっつと

おー
相変わらずゆうは掃除が上手いなあ

すみっこの方まで綺麗になってるわね

本当、ゆうくんがいてくれて助かるわ……あら？

桃恵さんが僕の方を見て、
何かに気が付きました。

ゆうくん、髪に
ほこりがついてるわ

お家に帰る前に
シャワーを浴びて行ったら？

あ、
そうさせてもらいます！



こうして僕はシャワーを浴びてから
帰ることにしました。

泉水さんと明子さんは
夕飯の買い出しがあるそうので
先に帰るとのことです。

桃恵さんも掃除の途中で
汚れてしまったようで僕と一緒に
シャワー室に入りました。

アッアッアッ

水着を着てるとはいえ
桃恵さんと一緒にシャワーを
浴びるのはドキドキするなあ…

アッアッアッ

髪だけじゃなくって
身体も洗っちゃいましょうね



おにゅー

桃惠さんのおっぱいが
背中当たると...

桃惠さんが後ろから抱きしめるように
しながら身体を洗ってきました。

水着越しに伝わる柔らかいおっぱいの
感触が心地よかったです。

それにわき腹や太ももを優しく撫でられて
僕はドキドキしてしまいました。

勃起させたらダメなのに
興奮してしまっておち●ち●が
どんどん硬くなってるみたいです。

あ
どうしよう
おち●ち●が…

あ
ゆうくんの心臓
すぐドキドキしてる…

お、落ち着け…
深呼吸だ…すーはー…

んんん

んんん

たぶ たぶ



桃恵さんが洗ってくれてくれるのを
僕はおち●ち●を
勃起させてしまいます。

もしかして、ゆうくん
おち●ち●、硬くしちゃった？

ぷんぷん

あ、……はい
ごめんなさい

気づかれちゃった……

桃恵さんが僕の身体を
洗ってくれてるのに、僕はちよつと
エッチな気分になってしまいました。

ううん
謝らなくていいのよ

おち●ち●が硬くなることは
悪いことじゃないもの

むしろ私で興奮
してくれるなんて…

…ダメ、もう我慢できない

ムリムリ

桃恵さんの目のきがちよつと
変わったような気がしました。



…ゆうくんの硬くなった
おち●ち●が元通りになるよう
私が手伝うわね

えっ…？

大丈夫、ゆうくんは
寝てるだけいいから

キョドン…

ん

僕は桃恵さんに抱きかかえられ、
抵抗ができません。

そうして僕は桃恵さんに言われた通り
シャワー室に横たわることになりました。

あ、あの…桃惠さん
水着、脱げちゃってますよ

いいのよ
ゆうくんに
見てほしかったから♡

桃惠さんのおっぱい
やっぱりすごく大きいなあ…

ドキドキ

ん♡

ガクガク

ハイハイ

水着を着けていない状態の
桃惠さんのおっぱいを見るのは
これが初めてです。

ただ、ここまで大きいとは
思っていたいなくて、僕はおち●ち●が
震え出してしまいうくらい
ドキドキしてしまいました。

いい、ゆうくん
これからすることを
みんなに内緒にできる？

えっ……？

はあ……♡

ムリムリ

これはゆうくんへのご褒美なの
誰かに話しちゃうと自分も
してほしいって思うでしょ？

♡♡♡♡♡
♡♡♡♡♡

すりっ

すりっ

確かにご褒美をもらっている人を見ると
僕は羨ましく思うのであります。

わかりました
誰にも言わないようにします

だから、桃恵さんとの
二人だけの秘密です

そうね
ゆうくんと二人だけの秘密♡

あーん
あーん

あーん

んん

んん

んん



…ゆうくんの初めては
私がもらっちゃうわね♡

あーっ

えっ……？

ズキズキ

ズキ

桃恵さんが小声で何かをうつぶらたので
聞き返そうとした瞬間——

おち●ち●が温かい何かに包まれて
僕は思わず声を出してしまいました。

どろり♡
どろり♡

おち●ち●
おち●ち●

あああああつ！

おち●ち●
おち●ち●

おち●ち●
おち●ち●



も、桃恵さん!!

これって…
セックスですよ!?

ブルブル

はあ♡

うん
さすが、ゆうくんは
物知りね♡

子供の僕にだってセックスという
行為がどういうものなのかは
わかっていきます。

セックスは子供を作るための行為で
こんな風に気軽にやっていたらものでは
ないと僕は思っていました。

ゴックン

うん♡

おは♡

ぬちゅん

はあ…はあ…
子供が、できちゃいますよ

そうね、でも女はね
好きな男の人の子供が
欲しくなっちゃうものなの♡

たぶん♡

はっ♡♡

好きな男の人…？

ということは桃恵さんは
僕のが好き…？

おっちゃん

おっちゃん

おっちゃん

おっちゃん

ゆうくんは私のこと
嫌い...？

そ、そんなわけないですっ！
桃惠さんのこと、大好きです！

桃惠さんはいつも優しく
してくれますし

…一緒にいるとすごく
安心できますので
ずっと一緒にいたいくらいです

桃惠さんに思いを伝えたのと同時に
僕のおち●ち●は一段と
硬さが増したのがわかりました。

カク

しゃほ♡

ぬちゅん

おのせゅん

んん

ん

目の前に何かが飛んできて
僕はつら目を閉じてしまいました。

わあっ！

はぁん♡

驚かせちゃって
ごめんね、ゆうくん

ぶわっ
びゅっ

目、開けて大丈夫よ

おしゃ

てんんん♡

しゃほ♡

ぬる

目を開けると桃恵さんの乳首の先から
何かが出ているのがわかりました。

これって…
母乳ですよね？

そうよ
女の人は子供が欲しい時に
母乳が出ちゃうの…♡

そ、そうなんですか…

学校ではまだ習っていない
ことでしたがきつと進級したら
習うのだろうと思いました。

ゆうくん、目が
トロンとしてきたわね

何度も何度もおち●ち●を
締め付けられていくうちに
だんだん頭がぼーっとしてきました。

あ...あの桃恵さん
おち●ち●がモゾモゾします...

何か変な感じ...
おしっこを我慢してる時
みたいなの

多分、これが射精する前の
感覚なのかなと思いました。

でも、出してしまおうと子供が
できてしまおう可能性があります。

じゅぽ♡

じゅぽ♡

ちゅぽ♡

じゅぽ♡

もじもじ

めいめい

んんん

いん、

ゆうくんのおち●ち●も
子供を作りたいって
言ってるみたいね♡

はい
でも...

大丈夫、いっぱい出して
後のことは何も
気にしないでいいから♡

そう言つて桃恵さんは
僕が逃げられないように
優しく身体を押さえてつけてきます。

あっ.....ああ

あーっ♡

あー♡





あーっ

あーっ

あーっ

あーっ

あーっ

ああああっ!!

あーっ

あーっ

あーっ

あーっ

あーっ

あーっ

あーっ

あーっ

あーっ

あーっ

あーっ



おっぱい
おっぱい
おっぱい

おっぱい
おっぱい
おっぱい

こんな精液
初めて♡

すごくプルプルしてて
お腹の中を泳ぎ回ってる

はーっ

はーっ

桃恵さんは僕が射精したことを
すごく喜んでいらるようでした。

僕もすごく
気持ちよかったです。

プル
プル

プル
プル

プル
プル

プル
プル

私がゆうくんを
精通させてあげちゃったのね♡

あー

ふー

射精したのも
これが初めて？

はい
そうです

んま
んま

とろ

♡
♡
♡



SS' ぷんぐん

このことは
みんなには——

もじもじ

はあ……♡

あ♡

わかってます
二人だけの秘密、
ですよね

気持ちよすぎたせいで頭がぼーっと
していましたが、約束はちゃんと
守らなうと……と思ひました。

その時、シャワー室に誰かが
近づいてくる足音が聞こえました。

桃惠さん...それにゆうくん

あはは
水着、今更着たって
遅いよ桃惠さん

あう
二人とも帰ったんじゃないか...?

開いたドアの先には
泉水さんと明子さんが立っていた。
二人もシャワー室に入ってきた。

モロモロ

キョト...

キョ...

怪しいなあって
思ってたんだよ
ね、泉水さん？

ええ
桃惠さんがゆうくんと
二人きりになろうと
してるようでしたからね

あはは…

ぷぷぷ
ぷぷぷ

突然の状況に僕はどうすれば
いいのかわからず
モジモジしてしましました。





むしろゆうくんは
すぐく頑張ったのよ

そうそう、ゆうくん
安心して

あ、
ごめんね、ゆう
別にゆうを怒りたいとか
そういうことじゃないの

ゆうの濃い精液…♡

♪♪♪

私もゆうくんの精液…
欲しい…♡

キエ

桃恵さんの話を聞いて
明子さんと泉水さんの顔が
赤くなつていきます。

その顔を見てみると
僕はまたドキドキしてきて
しまいました。

あ

ゆうくんのおそこに
精液がついてるじゃない

ズ

おっ

ホントだ!
これは綺麗に
してあげないとなあ

えっ...えっ...えっ...

ゆうくん...
私に任せて...♡

オモて
オモて

泉水さんにはそう言われた僕は
ただ頷くことしかできませんでした。

射精した後はおち●ち●が
敏感になってしまうことを
僕は初めて知りました。

くすぐったい…

ちゅぽぽぽ

おにやう

うん

ちゅぽ

おー
ゆうのち●ポ
なかなか立派じゃん

ゆうくんの精液…
すごく濃厚ね♡

あーん
あーん

んー
んー

んー
んー

ゆう、じっとしててくすぐりたいのにはすぐ慣れるから

明子さんが僕を支えるようにしてくるので僕は何とか立っていられました。

同時に泉水さんのおっぱいが押し付けられているので僕はほとんど身動きがとれません。

でも、それなら二人のおっぱいをいっぱい楽しんじゃおうかな





ゆうくんはおっぱいが
好きなのね...♡

明子さんが腕に力を込めることで
胸が僕の顔を優しく包んでくれます。

はなみ

それじゃもっと
挟んであげる♡

うん

どう、おっぱいで
頭を挟まれてる気分は？

あ、
すごく、気持ちいいです

ぴゅん
ぴゅん

ちゅぽん♡
ぬちゅん

うん
うん

ちゅぽん



これならまだまだ
出せちゃいそうね…♡

ちゃっ

いいね、
元気な証拠だよ♡

んっ

ちゃっ

それに我慢汁も
ピュルって出てくるわ♡

んっ

はっ

ね、私も触ってて気づいた

ゆうくんにおっぱいを押し付けると
おち●ち●がちよつと硬くなる♡

ちゃっ

ちゃっ

んっ

そう言うので泉水さんはひたすら
僕のおち○ち○を舐め始めました。

うん
じゃあ出すのを
手伝ってあげるね

んっ

レロ

ううっ
そうかもしれません

ちゅ

ちゅぽ

ねえ
ゆうくんのここ
まだ出したいって
言ってるよ？

んっ

んっ

んっ

ちゅ

よかったね、ゆう
泉水さんが気持ちよく
してくれるってさ♡

ははは……うううー！

ゆう……さつきから
震えっぱなし……
本当にかわいいんだから

ゆうくんのおち●ち●
ずっと舐めていたい

ふふ、明子さんも
泉水さんも
すごく嬉しそう



友達のお母さんたちに
こんなことされちゃうなんて

そう思うと学校とかで友達と
顔を合わせる時このことを
思い出してしまったりです。

そんなことを考えながら
僕はどんどん気持ちよくなるので
ずりこらしてたらたまたま
思ひこまらます。

あつ
ゆうのチ●ポ、
もつと硬くなってきた♡

ズキズキ





ゆうくんは何も気にせず
好きなタイミングで出して

でも
このまま出しちゃったら
泉水さんの綺麗な顔が…

これはそろそろって感じだね

フェ

ちゅ

グズグズ

ドゥ

ちゅ

ちゅ

ちゅ

ちゅ

ちゅ

あー♡

気にしてくれてありがとうございます

ちゅっ

♡♡♡♡♡

しゅろ

でも、ゆうくんの精液ならかけてほしいくらいなの

ちゅ

ゆうくんが「綺麗」って言うてくれた…♡

ムリムリ

ちゅ

んんん

ちゅ♡

ちゅ♡

ちゅっ

泉水さんはまるで溶けかかった棒のアイスを舐めるように僕のおち●ち●を舌でたくさん舐めてきます。

その感触があまりにも気持ちよくて僕はもう我慢できそうにありません。

グズグズ
グズグズ

ちゃんと支えてあげてるから
好きだけ出しなね♡

ありがとうございます
明子さん

キュ

ちゅっ

しゅろ

うん
大丈夫

ちゅぽっ

ちゅぽっ

とろとろ

まじゅ
まじゅ

ちゅっ

はっ

はっ

まじゅ

ごめんなさい、泉水さん
僕…もう…

いっぱい出た
よく頑張ったね、ゆう♡

はあ……はあ

口から溢れちゃった♡

予想した通り、泉水さんの綺麗な顔に
僕の精液がかかってしまいました。

ただ、泉水さんは少し嬉しそうな様子で
僕のおち●ち●に残った精液を
吸い出してくれました。



ゆうのチ●ポ
まだガッチガチだね

これならもう一回くらい
射精できちゃうんじゃない？

そ、そうかもしれませんが

じゃあ、泉水さんの膣内なかに
出してあげなよ

ちやほほ♡

んんん...

んんん

んんん

あーん
あーん

んんん

ふー

らららですが、明子ちゃん？

ムリムリ

射精をすると子供ができて
しまいかもしれません。

ゆう、泉水さんのこと
気持ちよくしてあげなね？

ありがとうございます

私は別の機会に
濃い精液を出して
もらうつもりだから♡

だから、泉水さんに譲るよ

あ、でも...

まじまじ

ちゅぽぽ♡

ちゅぽぽ♡

まじまじ

ちゅぽぽ♡

うん



だからゆうくん...お願い♡

はい
もちろん♡

どろどろ...

んんんんん

はーっ

ちゅっ♡

泉水さん、何も心配することはないですよね？



あ、はい

後のことは何も気にしないでいいって

ゆうくん、さっき私、言ったでしょ？



たっ たっ

この続きは、本編でお楽しみください！！